

## 各市町の研究活動状況等調査票

### I 市町の研究活動状況 【 高浜市 】

#### 1 活動の概要について

研究組織の名称	高浜市教育研究会 教育事務部会
組織の構成員	市内学校事務職員
開催回数	年間3回程度
活動方法（ここ数年の）	テーマに沿って全員で研究を行っている。 テーマとは別に、次年度の文書管理「学校ファイル基準表」の修正及び「備品分類表」の追加等見直し作業を毎年度末に行っている。また、隔年で講師を招いての研修会を実施している。 「市教研活動集録」に部会活動のまとめを掲載している。

#### 2 昨年度の活動について

##### (1) 研究テーマ

学校間連携におけるシステムづくり

##### (2) 活動内容

研究グループのテーマ①	学校間連携におけるシステムづくり
テーマ設定理由	事例研究による事務処理レベルの向上等
方 法	各自が経験した事例を持ち寄って事例研究を行った。 教職員向けの依頼文書や各種記載例等を市内統一し、配布日や提出日を統一する等、全校で同一レベルの事務を提供した。
年間の成果	各自が経験した事例を持ち寄って事例研究を行うことで、事務処理レベルの向上につなげることができた。 教職員向けに作成した依頼文書等のデータベース化、処理日程等の市内統一により、事務の効率化、平準化につなげることができた。
今後の課題	事例を増やすことに重点をおいてきたため、事例のまとめ方を今後検討し、手引きとして活用できるものの作成を目指す。

#### 3 今年度の活動について

##### (1) 研究テーマ

学校間連携におけるシステムづくり

(2) 活動内容

研究グループのテーマ①		学校間連携におけるシステムづくり
テーマ設定理由		高浜市就学援助事務取扱要綱を改正し、様式の変更等就学援助事務の簡素化を行う。
構想図の課題	今日的課題	1 財務運営                      ② 情報管理                      3 組織運営 4 地域連携                      ⑤ 教育活動支援
	経常的課題	Ⓐ 正確な事務処理                      Ⓑ 事務改善 c 能力開発                      d 職場研修の充実
方法		市教委担当者と連携し、実体に合っていない「就学援助費受給申請書」の改正や「世帯票」の廃止等の検討を行う。 また、申請や支給の時期等の流れについても検討し、保護者・学校事務職員・市教委担当者の三者がともにベストとなるような改正を目指す。

4 研究組織と市町教育委員会との連携

研究テーマによって市教委と連携を図っている。 就学援助事務処理の簡素化、手引き作成等、その都度連携を密に取りながら進めてきた。 今後も同様のスタンスで研究を進めていく。
--

5 研究組織外での活動について（特に記入することがあれば）

特になし
------

6 各市町において、事務職員(全員または一部)が参加した会議及び研修会について

平成29年度		平成30年度	
名称	学校事務連携会議	実施の有無	Ⓐ 無
主催	高浜市教育委員会		
参加者(対象者)	市内事務職員 8名	実施内容	(予定) 諸手当認定 諸帳簿点検
実施回数	毎月2回 (第2金曜日及び第4金曜日)		
実施内容	諸手当認定、諸帳簿点検		

平成29年度		平成30年度	
名 称	高浜市学校間連携協議会	実施の有無	㊦ 無
主 催	高浜市教育委員会		
参加者(対象者)	拠点校校長1名 連携校教頭1名 ブロックリーダー 副ブロックリーダー 市教委担当者1名	実施内容	(予定) 学校管理規則の改正について 学校事務共同実施規程の改正について 学校間連携協議会設置要綱の改正について (共同学校事務室関係)
実施回数	必要に応じて実施		
実施内容	学校運営について 共同実施組織の業務内容等について 学校間連携について		

平成29年度		平成30年度	
名 称	情報ネットワーク委員会	実施の有無	㊦ 無
主 催	高浜市教育委員会		
参加者(対象者)	校長1名 情報教育担当各校1名 教務・校務主任代表1名、 事務職員代表1名 養護教諭代表1名 市教委担当者1名	実施内容	(予定) グループウェアを有効活用するためのシステムづくりの検討と情報管理について
実施回数	年2回		
実施内容	グループウェアを有効活用するためのシステムづくりの検討と情報管理について		

平成30年度 新規に実施予定	
名 称	特になし

主 催	
参加者(対象者)	
実施回数	
実施内容	